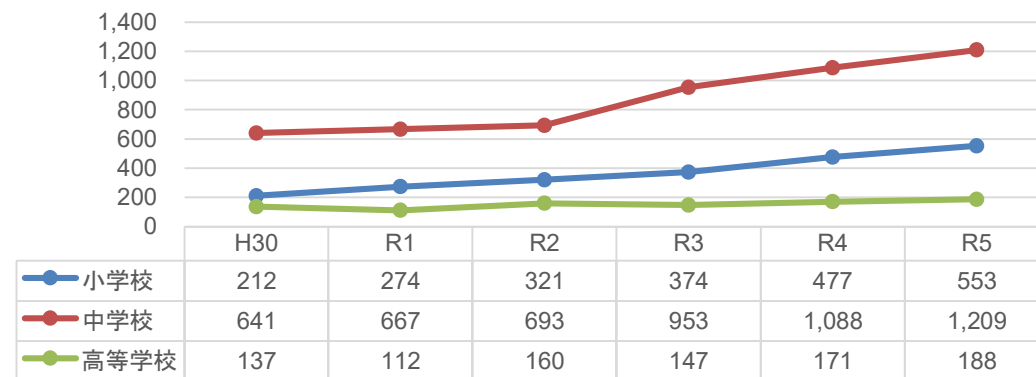


不登校の現状と不登校児童生徒への支援

【徳島県の現状・課題】

- 令和5年度徳島県内の不登校児童生徒数は、小学校553人、中学校1,209人、高等学校188人、合計1,950人(過去最多)
- 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けている児童生徒数の割合は約50% (全国平均61.2%)

徳島県の不登校児童生徒数推移



「誰一人取り残されない学びの保障」の実現に向け、児童生徒一人一人の状況やニーズに応じた多様な学びの場の確保

①学校に行くことができるが自分のクラスに入りづらい児童生徒への支援

➤ 校内教育支援センター設置促進

- ・児童生徒が自分にあったペースで学習等ができる環境



(城ノ内中等教育学校)

②家から出ることができるが学校に行くことができない児童生徒への支援

➤ 教育支援センター機能強化

- ・市町村教育委員会が開設、県内17市町14か所に設置



(鳴門市うずしお教室)



(吉野川市つばき学級)

➤ フリースクール等民間団体と連携

- ・在籍校等と連携しながら、学習や体験活動等を実施



(フリースペースわれもこう)



(森のがっこうみっけ)

③家から出ることができない児童生徒への支援

➤ オンラインカウンセリングの実施

- ・ガイドラインを新たに作成、相談体制の整備
- ・SCによるオンラインカウンセリングの実施



➤ ライフサポーター(大学院生)派遣

- ・不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭等に臨床心理学を学ぶ大学院生が訪問
- ・県内2大学と連携し、82名を委嘱
- ・R6年度 149回派遣



学びの多様化学校について

教育機会確保法第10条において、国及び地方公共団体が「学びの多様化学校」を整備することは努力義務とされている。

●文科省の方針

- ・令和9年度までに各都道府県での1校以上の設置、将来的には全国で300校の設置を目指す（教育振興基本計画第4期）（COCOLOプラン）

●全国的な設置状況

- ・学校数 58校（うち、公立学校37校、私立学校21校）23都道府県

●学びの多様化学校の概要

- ・不登校児童生徒の実態に配慮した、特別の教育課程を編成することができる

●考えられる効果

- ・登校へのハードルが下げられる（柔軟な教育課程、ゆとりある始業時間等）
- ・きめ細かな支援が行える（少人数集団の中で多方面からの生徒支援）
- ・社会性の育成につながる（自然との触れ合い、異学年交流）

●設置に関する課題

- ・予算（土地・校舎等）・選定場所（遠方からの通学）
- ・教育課程の編成や教員の人材確保（これまでの教員経験とは異なる環境）



これまでの取組

【R6.2月】○学びの多様化学校マイスターによる講演会を実施

【R6.7月】○先進校の視察

【R6.11月】○不登校児童生徒及び保護者の調査の実施

【R7.2月】○「徳島県不登校児童生徒の多様な教育機会確保の在り方に関する協議会」に向けた研究会

○学びの多様化学校マイスターによる講演

【R7.5月】○先進校の視察

学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設置状況(R7)

学校種別設置状況 (令和7年度)

● 小学校: **12**(8) 校 中学校: **40**(25)校

● 高等学校: **11**(6)校

※小中一貫校は小学校及び中学校にそれぞれ計上しているため
学校総数と一致しない

設置形態別設置状況 (令和7年度)

● 本校型: **22** (17) 校 分校型: **5** (1) 校

分教室型: **22** (13) 校 コース指定型: **9** (4) 校

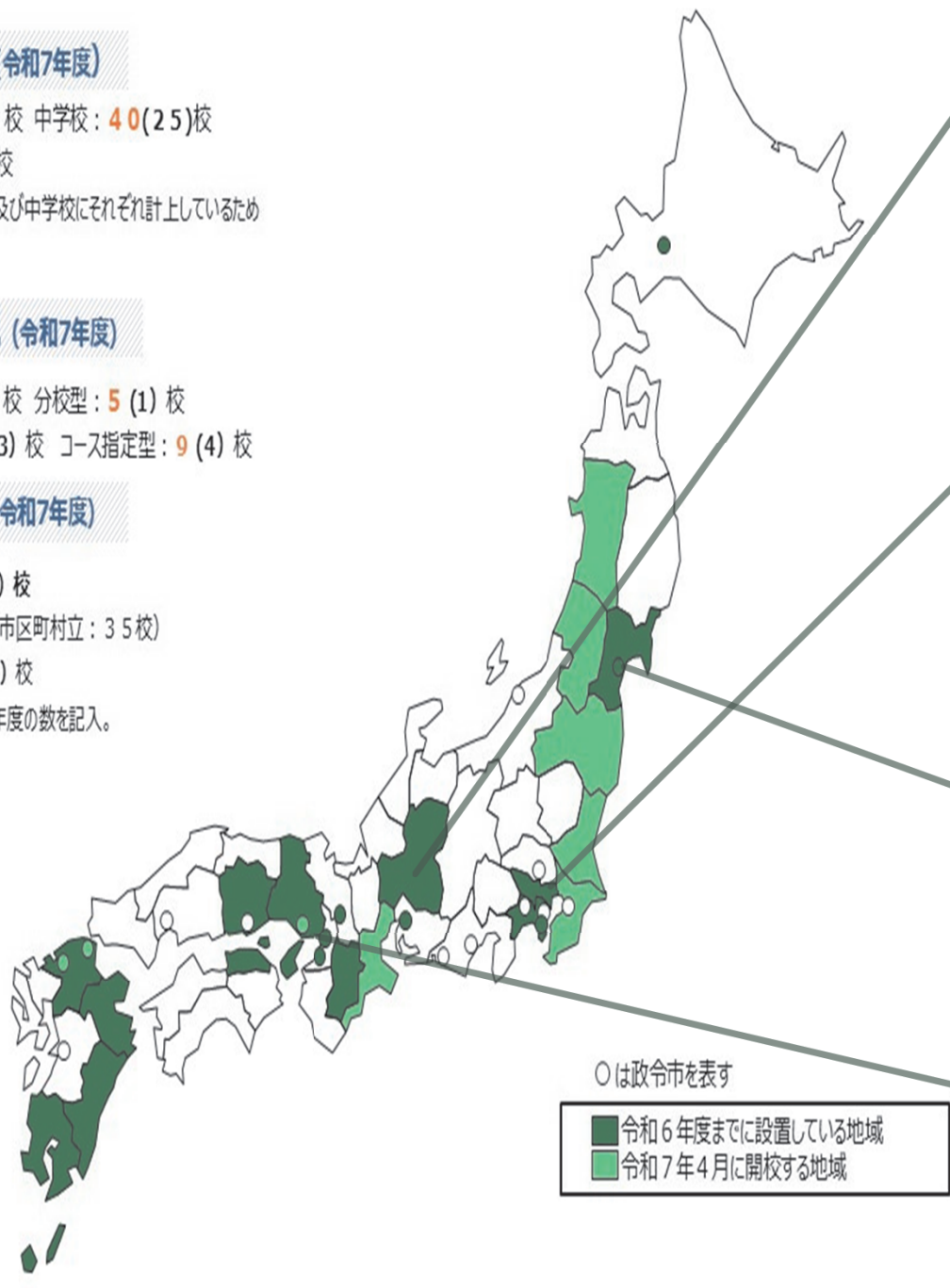
国公私別設置状況 (令和7年度)

● 公立学校: **37** (21) 校

(都道府県立: 2校、市区町村立: 35校)

私立学校: **21** (14) 校

※ () 内黒字は令和6年度の数を記入。



岐阜市立草潤中学校



- 生徒の個性を伸ばしつつ自己肯定感の育成を目指す制作学習「セルフデザイン」
- よりよい生活の仕方やセルフコントロールスキルの育成を目指す「ウォームアップ・クールダウン」

東京シューレ葛飾中学校

時間割 (一例)

	月	火	水	木	金
9:40	漢字タイム	計算ライジング	漢字タイム	計算ライジング	漢字タイム
9:50	個別学習	日本語	社会	理科	英語
10:40	英語	美術	技術・家庭	いろいろタイム	日本語
11:20	数学				
11:30					
12:10					
13:00	理科	社会	数学	いろいろタイム	プロジェクト
13:40	スポーツ	コミュニケーションタイム	音楽		
13:50					
14:50					
15:00	それ活	それ活	下校	それ活	フリータイム
16:30					

ホーム別授業 学年別授業 体験プログラム

- いろいろタイム
- 週一回丸一日を使って、自然や生命、芸術にふれる体験

宮城県ろりぽっぷ小学校



- テラスも活用して、心地よい環境で学習
- 廊下のないオープンスペースの教室

大阪市立心和中学校



- 夜間中学校の昼間に開設
- 午後の時間帯から教育活動を実施
- I K E Aの家具を使った教室環境

鎌倉市立由比ガ浜中学校

自分らしく学び、自分らしく成長できる学校

学校が子どもに合わせる

異学年・少人数・個別など多様な
スタイルで学ぶ

海や森、まちなど鎌倉全体で様々な
人々と関わりながら学ぶ

教科の枠を超えて
体験的・探究的に
学ぶ

自分たちで創りあげていく学びの場

自分のペースで学ぶ

学び方を学ぶ



1 自分のペースで学べる柔軟な教育課程

- ・年間授業時数（既存の中学校 1015 時間）を**770**時間に削減

授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特活	総合	ULTLA	CTime	合計
由比ガ浜中学校	88	53	105	52	0	0	70	0	87	35	35	0	140	105	770
（参考）標準 1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50			1015
（参考）標準 2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70			1015
（参考）標準 3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70			1015

- ・普通教室の他にも**個別で学習**できるスペース、**協働で学習**できるスペース等、様々なスタイルに対応する**多様な学習スペース**

I K E A と連携した教室環境

2 生徒の安心を育む充実した体制

- ・定員30名に対して約10名（教員・スクールカウンセラー等）

3 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

- ・**学びたい教科を選択**し、**学びをデザインしながら深く学ぶ**

4 保護者へのサポート

- ・定期的に懇談会、**専門職により関わり方についての講座**を実施

